

首相 山際氏更迭を拒否

岸田文雄首相の所信表明演説に対する答弁問題が5日、衆院本会議で始まり、立憲民主党の泉健太代表、西村智奈美代表代行、自民党的上川陽子幹事長代理が質問に立ちあつた。

衆院論戦 始まる

立憲の衆院代表は安倍晋三元首相の「国難」の強行について、「今後、このような分断と混乱を繰り返すべきではない」と批判しました。統一協会問題では、公表の議員名を公表するよう求めました。細田博之議長は「あなたが示した一枚紙では

全く説明不足だ。もう少し真相を語るべきだ」と指摘。同協会との関係が次々と明らかになった山際大志郎経済再生担当相については、岸田首相に更迭を要求しました。自民党的「点検」については、自治体議員を対象として、非公表の議員名を公表するよう求めました。

岸田首相は「(山際)下村元文科相

氏が)理解を得られていないのなり、引き続きたまの責任において工事を説明を要ぐる必要がある」と述べ、更迭を事実上拒否しました。

泉氏は、統一協会が影響力を行使したと報道された自民党的「ロジエクトチーム(P.T.)による性教育バッシングに触れ、「統一協会の影響を受けている」との認識はあるか。(学習指導要領が定める)

た。岸田首相はコロナ感染拡大による医療崩壊を否定し、「必要な入院医療を提供できなかった」と開き直りました。

下村元文科相 関与を否定

協会名称変更で首相

寧な議論を行った。さすがに「私の知り得る限り指摘は当たらない」とて「私の知り得る限り強弁しました。

泉氏は岸田首相が所信表明で「コロナ禍について「今年の夏を乗り切れた」と述べたのは「裏書き」と批判し、「謝罪を要求」「行動制限を出さなかっただけ

で、総理が掲げた『医療難民ゼロ』は崩壊してしまった」と批判しました。

また、2015年の

統一協会の名称変更へ

の下村博文文科相

(当時)の関与につい

ては、「申請の内容が

法令に規定した要件を

備えていた」とを確認

し、「認証の法定を行つた」と答弁。「政治家や大臣の政治的な関与

に対する「ある」と否定しました。

もまた慎重に判断す

る必要がある」と答弁しました。

いずれも立憲の西村

宗教法人法に基いて

いた。

統一協会の解散命令請求

についても、「判例も

代表代行への答弁。